

# GIS学術士

地理学および地理情報科学の知識と技術を活かし、  
社会の発展に貢献します。



## GIS学術士って何?

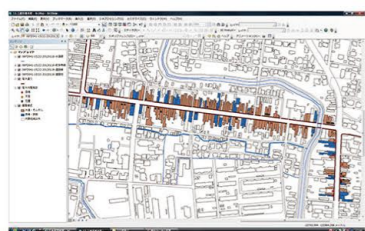
GIS学術士制度は、GISの知識と技術の向上をはかり、適正なGIS学術を普及し、地理学および地理情報科学の進歩と社会の発展に貢献することを目指します。この資格制度における「GIS」とは、地理情報をコンピュータで系統的に取得・構築、管理、分析、統合、表示、伝達することに係わるシステムおよび科学をいいます。



## 社会で必要とされるGIS技術

2007年5月に成立した「地理空間情報活用推進基本法」は、骨格的な地理空間情報の整備を加速させ、国土交通省国土院や総務省統計局などから実に多くの地理空間情報がインターネットで入手できるようになりました。

こうした状況の下、地図表現の基本と位置情報の持つ意味と価値を正しく認識した人材の育成は、今後ますます意義あることと確信し、2007年10月より社団法人日本地理学会(当時)は、GIS学術士の資格認定を行っています。



## 公益社団法人 日本地理学会資格専門委員会

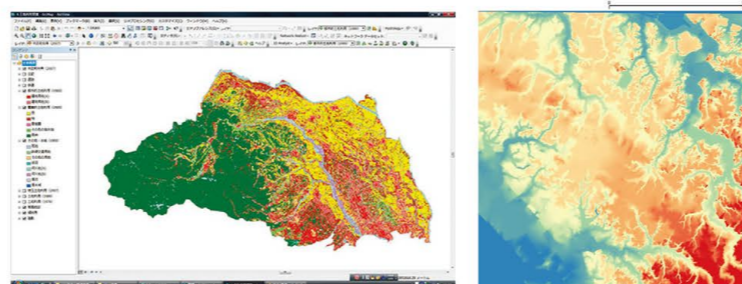
〒153-8522 東京都目黒区青葉台4-9-6 日本地図センタービル内  
公益社団法人 日本地理学会資格専門委員会  
PHONE & FAX: 03-6416-8683  
http://www.ajg-certi.jp  
E-mail: meguro@ajg-certi.jp

写真協力: 国土館大学 文学部地理・環境専攻  
駒澤大学 文学部地理学科  
専修大学 文学部環境地理学科  
立正大学 地球環境科学部地理学科



## GIS学術士への道のり!

- 1 科目認定校において定められた科目の単位を修得する
- 2 GISを利用した卒業論文の執筆と科目認定校の卒業
- 3 GIS学術士認定委員会の審査
- 4 公益社団法人日本地理学会理事長の認定



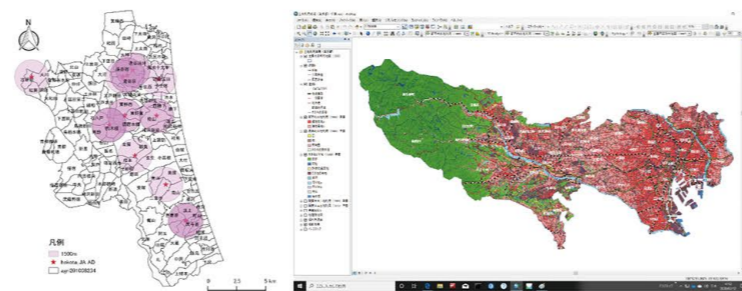
2021年4月現在、GIS学術士の科目認定校は30大学、GIS専門学術士の科目認定校は11大学院を数えています。

## 申請に必要な単位は?

### GIS学術士の資格を取得するためには

大学等の科目認定校で開設されている、以下の【A】【B】【C】【D】に対応する科目の単位修得が必要です。

	修得すべき科目	単位
A	GISに関連する情報処理を中心とする科目	1
B	GISの基本的機能と空間データの講義を中心とする科目	2
C	GISによる地図作成・空間分析の実習を中心とする科目	2
D	GISを利用した卒業論文を執筆する科目(または、それに相当する演習)	4



## 認定の申請費用はいくらなの?

GIS学術士の認定申請には、以下の費用が必要です。申請の手順に従って、ゆうちょ銀行の振替口座に費用を振り込んで下さい。

郵便口座: 00130-0-413143

口座名称: (公社)日本地理学会GIS学術士資格委員会

「GIS学術士」認定手数料	6,000円+税
「GIS専門学術士」認定手数料	12,000円+税 <sup>※</sup>
「GIS学術士(見込み)」証明書	1,200円+税

※GIS学術士がGIS専門学術士を申請する場合は6,000円+税が必要です。

## GIS学術士の活動の場は?

### 【教育に関する事業】

地理教育、環境教育、体験型学習などの分野での地理空間情報の利活用は、この数年間で大きく進展しました。2022年度から必修科目となる「地理総合」では、GISを取扱うこととなります。地理空間情報の所在と位置情報の価値を正しく認識し、それらを教育内容に基づいて展開できる人材の活躍が期待されています。

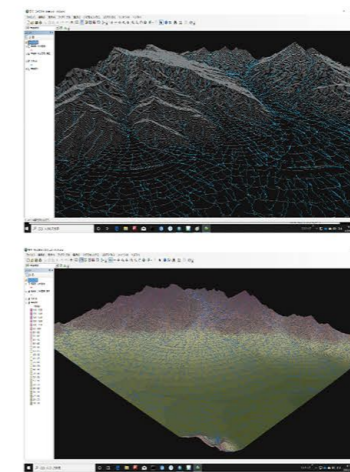
### 【公共的な事業】

建設系はもとより、環境、防災、農林、福祉、観光などの分野での展開が期待され、市民参加活動へのGISの活用や行政の効率化・高度化を担う人材としての活躍が期待されています。

### 【民間の事業】

資源や流通といった特定分野のみを対象とするのではなく、広く地理的に分布する事象を対象として、計測・調査・解析・予測・利活用に至る、地理空間情報コンサルタントとしての活躍が期待されています。

## GIS専門学術士・GIS上級技術者への道



大学院博士前期(修士)課程において、認定科目の単位を取得して修士論文の審査に合格すれば、GIS専門学術士の資格申請をできるようになります。これらの資格取得者は、実社会においてさまざまな経験(教育や社会への貢献)を積むことにより、GIS資格認定協会から専門技術者認定がなされ、GIS上級技術者の資格が授与されます。公益社団法人日本地理学会は、GIS資格認定協会を運営する一般社団法人地理情報システム学会と連携しています。